

令和8年度 施政方針

洲上市長は、令和8年2月20日の令和8年市議会第1回定例会本会議の冒頭で、施政方針について演述を行いました。

令和8年度は「令和7年大船渡市大規模林野火災」からの復旧・復興を最優先施策とし、市内経済と市民生活の活性化が連動するような施策展開に努めるとともに、市民の皆さんとの対話を重ね、理解と共感をいただきながら、「変化をおそれず、挑戦する」姿勢のもと、積極的に市政を運営していくことを表明しました。

今月の特集は、令和8年度の主な取り組みを大船渡市総合計画の大綱別にお知らせします。

☎ 企画調整課政策調整係（☎内線214）

大規模林野火災からの復旧・復興

被災者の暮らしの再建

- 住宅再建や見守り・相談対応、テレビ共同受信施設の復旧など、被災者に寄り添う丁寧な支援策を実施

なりわいの再生

- 農林漁業など多業種の生産・事業環境を考慮しながら、的確な取り組みを推進

森林の再生

- 豊かな森林の再生・復興に向け、被災木の伐採や植林などを推進



大規模な森林被害からの復旧事業を本格化

大綱1 豊かな市民生活を実現する産業の振興

予算額：約54億1,329万円

地場企業の振興

- 企業の担い手育成のため、市内で学ぶ高校生と企業との研究活動などを支援する事業を新たに実施
- 市内での企業立地や工場などの新增設に対する助成制度を拡充し、企業誘致活動を強化
- 産業人材の確保や若者の地元定着を促進するための奨学金返還支援を継続

水産業の振興

- アワビやサケなどの種苗放流、磯焼けした藻場の再生など、漁業資源の確保と漁場保全の取り組みを支援



地域資源を生かしてにぎわいや雇用を創出する「海業」の綾里漁港での取り組みなどを支援

- 海洋環境の変化に対応するため、高水温耐性がある養殖種や養殖方法、海面でのサーモン養殖などの実証試験を促進

移住・定住の促進

- 大船渡での生活を体験する「移住体験住宅」を増設
- 移住者や若者の定住を支援するため、「おおふなと暮らし応援補助金」を創設



2月24日開設の大船渡移住・定住相談センター「トモヅナ」を拠点に移住希望者などに寄り添う取り組みを継続

国際リニアコライダー(ILC)の実現に向けた取り組み

- 「オール岩手」「オール東北」の態勢で、要望や機運醸成の活動を積極的に実施

- 地区運営組織の設立や、自主的な運営を支援
- 固定的な性別役割分担意識の改善やワーク・ライフ・バランスの促進など、男女共同参画の取り組みを実施

健康づくりと地域医療

- 健康づくりサポーターを養成し、健康寿命を延ばすための活動を推進
- 持続可能な地域医療の在り方などを検討

農林業の振興

- 被害の拡大防止対策を継続しながら、捕獲報償費の対象鳥獣へのクマの追加や有害獣の捕獲頭数の増加など、野生鳥獣対策を強化
- 大規模林野火災関連事業のほかに、森林環境譲与税を活用した森林整備、森林病虫害の防除などを促進

商業の活性化

- 事業の安定化と継続を支援
- 商店街などのにぎわいを創出するため、空き店舗などを活用して起業や事業拡大する事業者に改装費用などを補助

観光の振興

- 新たな取り組みとして、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」関連イベントで大船渡の魅力を発信
- 「みちのく潮風トレイル」の安心・安全な利用環境を整えるため、主要なポイントに案内標識を設置するほか、ハイカー向けの情報発信を強化

大綱2 安心が確保されたまちづくりの推進

予算額：約155億6,958万円

子育て支援の充実

- 出産時に6万円、小中学校入学時に1万円を支給する「おおふなと子育て応援祝金」を創設



子育てを社会全体で支える環境づくりを強化するため、子育て支援の約60の取り組みを継続

大綱3 豊かな心を育む人づくりの推進

予算額：約23億5,227万円

- 大船渡中学校の統合に伴う改修工事、大船渡・末崎・大船渡北小学校でのトイレの洋式化と校舎照明LED化で教育環境を整備
- 生涯スポーツの推進のため、スポーツ施設の整備について具体的に検討

- 県指定無形民俗文化財「盛町五年祭」の記録保存事業を実施
- 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を周知するため、講演会や博物館での企画展、構成文化財への説明看板設置などを実施
- 小学校の給食費を無償化して保護者の負担を軽減

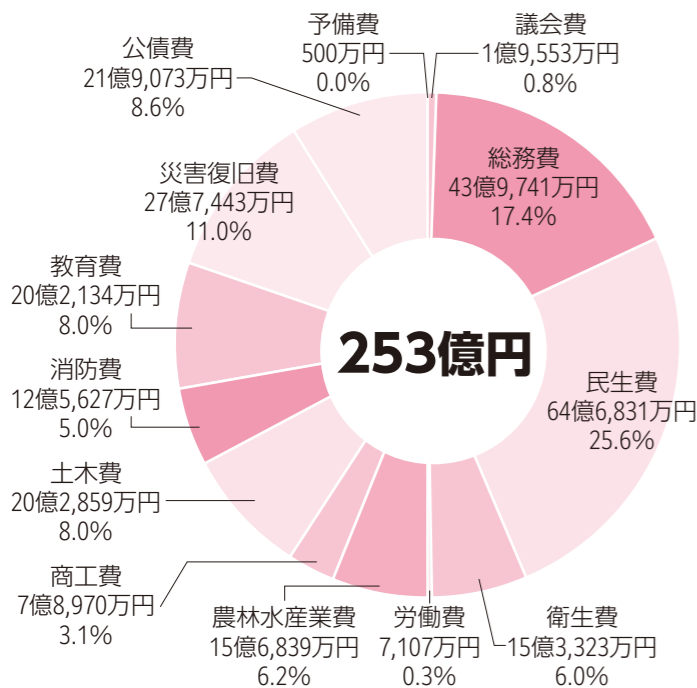
令和8年度 予算概要

令和8年度は、大船渡市総合計画2021後期基本計画の初年度として、将来都市像「ともに創る やすらぎに包まれ 活気あふれる 三陸のにぎわい拠点 大船渡」の実現に向けた取り組みを本格的に進める重要な年です。各種施策を着実に推進するとともに、行政経営方針に掲げる重点施策に優先的に取り組み、安心と活力のあるまちづくりを進めていきます。一方で、市税収入の減少が見込まれる中、人件費や物価高騰の影響による経費の増加など、財政を取り巻く環境は厳しさを増しています。

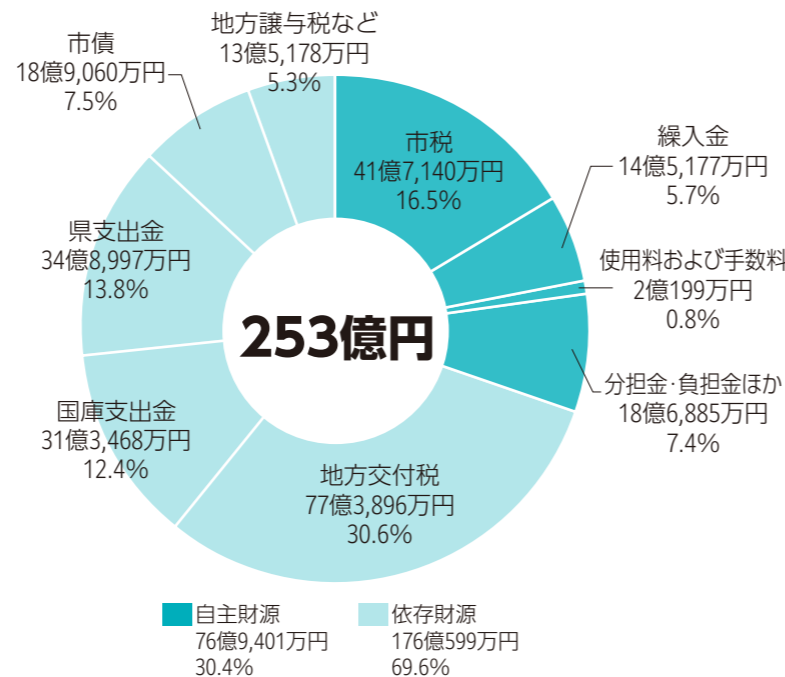
こうした状況を踏まえ、国・県の補助制度やふるさと納税の活用などにより財源の確保に努めるとともに、限られた財源を効果的に活用する「選択と集中」を進めています。その中で、「地場企業の振興」「子ども・子育て支援の充実」「質の高い行政運営の推進」を重点施策とし、持続可能で将来に希望が持てるまちづくりに向けた予算を編成しています。

☎財政課財政係(☎内線224)

一般会計歳出



一般会計歳入



予算額総括表

会計区分		8年度予算額	7年度予算額	増減率
一般会計		253億円	211億9,000万円	19.4%
特別会計	魚市場事業特別会計	2億6,249万円	3億2,840万円	-20.1%
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	1,621万円	1,572万円	3.1%
	介護保険特別会計(保険事業勘定)	44億1,139万円	43億9,467万円	0.4%
	後期高齢者医療特別会計	6億6,722万円	5億8,316万円	14.4%
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	37億1,985万円	38億9,148万円	-4.4%
	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	2億6,568万円	2億4,627万円	7.9%
公営企業会計	水道事業会計	17億3,172万円	19億8,753万円	-12.9%
	下水道事業会計	20億1,768万円	19億61万円	6.2%
合計		383億9,224万円	345億3,784万円	11.2%

※金額・構成比・増減率は表示単位未満で端数を調整しています。

※公営企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額から、現金の支出を伴わない減価償却費と資産減耗費を除いた額です。

大綱4 潤いに満ちた快適な生活環境の創造

予算額：約23億5,352万円

- 市道や河川・水路の適切な整備と維持管理を推進
- 水道事業の経営基盤の強化に努めながら、安全・安心な水道水を供給
- 若者や移住者の空き家取得を支援し、空き家の発生抑制と利活用を促進
- 市と県内陸部を結ぶ幹線道路機能の向上に関する国や県への働き掛けを積極的に実施
- 国道107号の高規格化に向けて、官民一体の整備促進要望活動をさらに推進
- 三陸鉄道やBRTといった公共交通の利用促進や、持続可能な交通サービスの確保などに関する取り組みを推進

Pick up



大船渡港の機能向上に向けた要望活動と、資源循環・再資源化の可能性に関する調査を実施

大綱5 やすらぎある安全なまちづくりの推進

予算額：約13億4,780万円

- 新たな取り組みとして、自主防災組織のリーダーとなる防災士を養成
- 災害対策本部地区本部となる施設にWi-Fi機器を整備
- 市内11地区の水害ハザードマップを更新
- 大規模林野火災を教訓に、防火水槽などの消防設備・装備を計画的に整備するほか、林野火災警報・注意報の的確な周知など、火災予防活動を強化

大綱6 自然豊かな環境の保全と創造

予算額：約8億4,410万円

- 住まいの省エネルギー改修工事の支援、カーボンオフセット事業の調査・研究など「脱炭素」の取り組みを推進
- 下船渡地区と立根地区での下水道の管渠整備を継続
- 公共下水道区域外で浄化槽の設置を普及拡大

大綱7 新たな時代を切り拓く行政経営の確立

予算額：約61億1,992万円

- 市の業務で生成AIを活用する体制を整備
- 「おおふなと版窓口改革」として、書かない・ワンストップ窓口の対象手続きの拡大、市公式LINEの機能拡充などで、行かない窓口の利便性を向上
- 個人住民税の電子申告を促進するほか、7月からコンビニ納付の対象に後期高齢者医療保険料と介護保険料を追加
- 「おおふなと斎苑」「フレアイランド尾崎岬」の設備改修、旧越喜来中学校の解体着手など、公共施設を計画的に管理
- 気仙管内での連携強化をベースに、広域連携の取り組みを推進

Pick up



魅力あるお礼品の開発やプロモーション活動でふるさと納税の寄附額を増やし、関係人口も拡大